



災害時の備えを万全に

防災知識を学ぶ

地域防災に貢献できるようにと、防災体験学習が5月10日、御前崎中学校で実施され、1年生116人が参加しました。実災害時を想定したAEDの使い方や消火訓練、仮設トイレの設営などを実践しながら学んでいきました。参加者の高塚柗磨さんは「今回の体験でいろいろな経験を積めたので、実際に被災したときには周りの人の助けになりたい」と力強く話しました。



看護への理解を深める

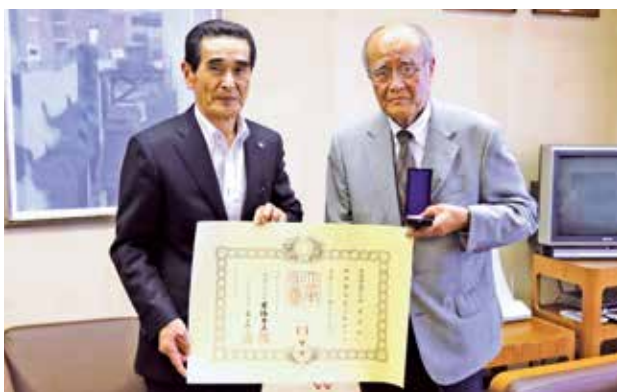
未来へつなぐ地域医療

地域の住民に看護に対する理解を深めてもらおうと「ふれあい看護体験」が5月14日、市立御前崎総合病院で開かれました。市内外から中高生ら14人が参加し、病院内の見学やベッドメイキングなどを体験しました。参加者の村松海斗さん(池新田高校2年)は「看護の仕事には、多くの知識と患者さんへの思いやりが必要だと分かりました」と体験で学んだことを話しました。

地方自治への伸展に貢献

旭日双光章受章の喜びを報告

春の叙勲で、旭日双光章を受章した西島昌和さん(新野西)が5月22日、市役所を訪れ柳澤市長に受章の喜びを報告しました。西島さんは平成16年から3期12年にわたり市議会議員を、そのうち1期は議長を務めるなど、地方自治の伸展への貢献が認められての受章となりました。「受章できてとても光栄。周りの皆さんの支えがあったから成せたことだと感謝している」と話しました。



元気に練習の成果を披露

笑顔と涙があふれた運動会

市内小学校の運動会が5月27日、3校(東小・北小・御前崎小)で開催されました。

御前崎小学校では、全校生徒228人が赤と白の2組に分かれ、大玉転がしや徒競走、熱の入った応援合戦など、さまざまな種目を競い合いました。5・6年生が日頃の練習の成果を見せた組み体操では、訪れた多くの保護者から大きな拍手と歓声が沸き起こりました。